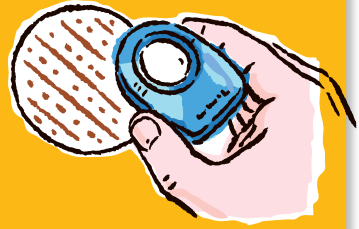


どう診る？ どう治す？

# 皮膚診療 はじめの一步

すぐに使える皮膚診療のコツとスキル



Welcome to Dermatology

## CONTENTS

### 序

## Lecture 1 皮膚科診療の基礎を身につける

### 1. 皮膚科カルテの基本骨格 ..... 12

1 まずSOAPについて、ちょっとおさらい 2 「皮疹」はSですか？ Oですか？ Aですか？ 3 原発疹と続発疹（皮膚症状を医学用語で表現する）

4 皮膚科カルテの例

**Let's Try!** どんな原発疹や続発疹を認めますか？

### 2. 皮膚科の病歴のとり方 もし7つしか質問できないとしたら ..... 32

1 “今日はどうされましたか？” ではじめてよいのか？ 2 もし7つしか質問できないとしたら、何を聞きますか？ 3 二次元グラフによる基本骨格をつくる（はじまり、経過、そして介入）

### 3. 皮膚所見のとり方 ..... 43

1 感覚を言葉にしなければならない理由 2 絵から言葉を、言葉から絵を想像する 3 皮膚所見をとる練習方法（言葉だけで正確な絵を再現してもらえるか？） 4 皮膚所見をとるときに必要な表現

**Let's Try!** 実際に所見をとってみましょう

- 4. 触診のしかた**  
皮膚腫瘍の触診，表在リンパ節の位置と触り方…………… 57
- 1 表面の状態を確認する 2 皮膚腫瘍の触診のしかた：その腫瘍はどの深さにあるのか？ 3 圧痛や自発痛の有無は悪性のサインか？ 4 表在リンパ節の触診（リンパ節はどこにあるのか？）
- 5. 粘膜のみかた**…………… 66
- 1 薬疹の重症度 2 感染症に関連した発疹症における粘膜の所見 3 その他の炎症性疾患に伴う粘膜の所見 4 腫瘍性疾患
- 6. 爪のみかた**…………… 71
- 1 基本的事項 2 爪の異常
- 7. 髪の毛のみかた**…………… 76
- 1 診察のしかた 2 円形脱毛症の診察のポイント
- 8. プレゼンテーションのしかた**  
臨床能力がありそうに見える（？）プレゼンテーション…………… 79
- 1 メモを読まない 2 話す内容に優先順位をつける．何でもかんでも話さない 3 顔を上げ，できれば少しゆったりと低目の声で話す 4 プレゼンテーションが終わったら，「以上です」と言う

## Lecture 2 写真の撮り方

- **臨床写真の撮り方をマスターする**…………… 82
- 1 写真がぶれている：カメラの持ち方 2 ピントがぼけている 3 暗い写真，明るすぎる写真（ストロボ） 4 背景に余計な物が写っている 5 撮影範囲が適切ではない 6 失敗しないためのコツ
- Let's Try!** どんな問題があるでしょうか

## Lecture 3 メスを入れる前に

- 必ず知っておきたい  
**メスを入れる前のチェックポイント** ..... 94
  - 1 浅いところを走る神経に注意する
  - 2 体の正中にある腫瘍や腰部腹部陰部の皮下腫瘍には安易にメスを入れない
  - 3 太いリンパ管が走っているところに注意する
  - 4 ケロイドや肥厚性瘢痕になりやすい部位
  - 5 生検を行う際の注意点
  - 6 手術で使用する器具
  - 7 術後の処置
  - 8 そのほかの注意点

## Lecture 4 皮膚の病理所見のとり方

1. **まずは正常組織と用語を覚えよう** ..... 110
  - 1 皮膚の正常組織
  - 2 代表的な皮膚病理組織用語
2. **病理標本の観察の手順** ..... 117
  - 1 弱拡大で可能な限りすべての所見をとる
  - 2 表面から順番にスキャンするように見ていく
3. **実際に所見をとってみましょう** ..... 121
  - 1 まず弱拡大で（4倍の対物レンズ：オリンパスなら赤のレンズ）
  - 2 次に倍率を1段階上げて観察する（10倍の対物レンズ：黄色のレンズ）
  - 3 まとめ
4. **角層の所見は大切です** ..... 125
  - 1 角層を無視していませんか？
  - 2 角層の病理所見の表現方法
5. **顆粒層から皮下脂肪までの所見** ..... 130
6. **皮膚病理診断が上達するためには** ..... 132
  - 1 臨床情報なしで病理標本を見る
  - 2 病理標本を見る時の順番の例
  - 3 病理所見から臨床所見を想像する
  - 4 “compatible” はカルテや報告書に

書いても、心の中にはなるべく書かない 5 1つの病理所見からいくつかの鑑別疾患をあげる

## Lecture 5 基本的な検査

1. 真菌検査 ..... 137
  - 1 こんなときに白癬を疑う
  - 2 こんなときにカンジダを疑う
  - 3 白癬の検査法
  - 4 カンジダの検査法
  - 5 KOH法
  - 6 顕微鏡のセットのしかた
2. 細胞診 ..... 146
  - 1 細胞診が役立つ疾患
  - 2 実際の手順
3. ダーモスコープ ..... 150
  - 1 おすすめの機種
  - 2 検査前の準備と工夫
  - 3 ダーモスコープをどのように始めるか？ どのように勉強するか？

**Let's Try!** 写真をみて3ポイントチェックリストを試してみましょう
4. アレルギーの検査 ..... 163
  - 1 アレルギーの問診
  - 2 こんな臨床症状があったらこんな皮膚テストを行います
  - 3 皮膚テストの前に
  - 4 プリックテストの実際
  - 5 パッチテストの実際
  - 6 血液を用いた検査

## Lecture 6 基本的な治療法

1. ステロイド外用剤 ..... 174
  - 1 ステロイド外用剤は強さに差がある
  - 2 基剤の選択
  - 3 外用する部位によってステロイドの吸収量が異なる
  - 4 外用剤の量と外用できる範囲
  - 5 外用剤の混合について

2. ウイルス性疣贅<sup>ゆうぜい</sup>に対する冷凍凝固術 ..... 184
3. 傷の処置 ..... 186
- 1 傷の処置の基本 2 被覆材の特徴を知る 3 処置方法（何を塗るのか？ 何を貼るのか？） 4 疾患別処置方法

## Lecture 7 学会発表と論文作成

1. 抄録の作成 ..... 204
- 1 抄録の体裁を調べる 2 抄録のタイトル 3 共同演者と所属 4 抄録の本文
2. 発表用パワーポイントファイルの作り方 ..... 208
- 1 まず発表時間を確認する 2 各スライドの役割を決める 3 文字サイズはなるべく大きく、文字数はなるべく少なく 4 スライドの背景は明るい色合いが望ましい（と思う） 5 Simple に、Simple に、そして Simple に 6 発表時間が数分しかない症例報告では、考察のテーマは1つ（あるいはせいぜい2つ）が限界ではないか？ 7 最後にスライドをチェックする
3. 口演のしかた ..... 214
- 1 なるべく早い時期に原稿を読まないで発表できるようにする 2 まずは言いたいことをスライドに全部書いてしまう 3 忘れないように重要な項目のみをスライドに書く 4 少し時間を残して終わらせる 5 聴衆を見る 6 質問の受け方…すきを残しておく 7 いざ発表へ
4. ポスターの作り方 ..... 218
- 1 まず、確認すること 2 ポスターを読んでもらうためには
5. 論文の書き方 ..... 223
- 1 論文を書く前に、自問する 2 論文の売りの例 3 どこから書きはじめましょうか？

1. 保険診療について	236
1 保険診療と自由診療	
2 先進医療	
3 自己負担額	
4 高額療養費	
5 診療報酬 [レセプト (診療報酬請求書)]	
6 査定される理由で多いもの	
7 指導管理料	
2. 理解しにくい医学用語	242
患者さんにわかりやすい説明をめざして	
1 患者さんに通じない言葉—こんな言葉を使っていませんか？	
2 患者さんの質問にわかりやすく答える	
3. スキンケア	
洗顔，洗髪と入浴についての指導	250
1 湿疹が全身にあったら入浴状況を必ず聞く	
2 顔や体の洗い方	
4. サンスクリーン剤	252
1 紫外線 A (UVA) と B (UVB) の作用の違い	
2 SPF と PA	
3 外用する量	
4 外用する季節と時刻	
5 サンスクリーン剤を外用する部位と年齢	
6 オーガニック (吸収剤) とインオーガニック (反射剤, ノンケミカル)	
5. 便利な Web サイト	256
索引	258